

企業名： ブラザー工業

レポート名： 統合報告書レビュー

## 1. この会社が目指す姿が理解できるか

筆者は貴社の目指す姿を十分に理解できた。貴社の統合報告書(以下、報告書と略す)には、将来を見据えた新ビジョンとして「At your side 2030」が挙げられており、その内容が詳細につづられていた。また、その具体的な内容として、あり続けたい姿、価値の提供方法、注力領域に関する説明があった。正直、新ビジョンの概要を紹介している頁は、「新たな柱を築く」「ブラザーの強みが生きる領域において課題解決に取り組む」等、抽象的な表現が多く、もう少し具体的な記述、例えば、プリンター業界という自社の得意分野を～という課題の解決に生かすという説明があった方が、新ビジョンの下で貴社が取り組みたいことがより明確になる気がしている。但し、貴社の目指す姿に関する説明は報告書にしっかり記載されており、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業、パーソナル・ホーム事業等の、貴社に存在する事業別に、今後の方針が詳細に書かれていたため、筆者は貴社が今後どのような会社になっていくのかについてのイメージをつかむことができたと感じている。

## 2. この会社の競争優位性が理解できるか

筆者は、報告書から貴社の競争優位性を理解することができなかった。報告書には、貴社の、環境や社会への取り組みに関する説明や、将来のビジョンについての説明は非常に詳細に書かれているが、他社との比較を大々的に取り上げている箇所が無い。貴社が取り組んでいることははっきりしており、そのほぼ全ては社会や環境にポジティブな影響を与えていることが分かる為、その点では他社より優位な面も存在すると考えることは可能だ。しかし、市場規模、製品の満足度、成長率等、何か具体的な数字を用いた他社との比較を行い、それを根拠に、「ブラザー工業は〇〇であることが強みであり、この強みを生かすために××という経営指針を掲げている」という主張をテーマとした箇所が報告書内に設けられるべきだ。但し、報告書の末尾に外部評価(受賞内容)が挙げられており、筆者は貴社の競争優位性を全く見つけられなかった訳では決してない。健康経営優良法人に選ばれている点等は評価に値する上に、取り組み内容について詳細に公表できる程、自社のプロジェクトに自信があり、優れた業績をもっていることは当然優位性を持ってはいる。しかし、数値を用いた他社比較を用いて、自社の優位性を具体的に示すことができていないため、筆者は貴社のどのような点に明確な優位性があるのかということをつかめていない。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

筆者は先程、貴社の競争優位性がはっきりしないと述べた。そのため、競争優位性に持続性があるかどうかは分かりかねる。但し、報告書において、環境や社会への積極的な取り組みの内容が詳しく数ページに渡って説明されているところを見ると、貴社が持続性を重視していることは確実である。もしその取り組みが他社を凌ぐ先進的なものであるなら、貴社は持続性のある競争優位性をもっている優良企業であると結論付けられるかもしれない。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

筆者は、貴社で自身の人的資本の価値向上を達成できると考える。報告書には人材支援について細かく示された箇所があり、ここでは、従業員の能力開発に関する研究、教育に充てられている時間が年々増加しており、AI 人材教育をはじめとする複数のプログラムが用意されているという説明がある。また、離職率が減少傾向にあることや、貴社が現地スタッフを積極的に経営幹部へと取り入れる制度を導入することで、従業員の質を高めてようとしていることも分かった。このことから、貴社の労働環境の水準は申し分なく、人的資本の価値向上は間違いなく達成されるといっていい。

しかし、筆者が気になった点が2つある。1つ目は、プログラムの具体的な内容に関する説明が不足していることだ。研修を通して何を学ぶことができるのかが大枠しか説明されていないことが多く、学びたいことが筆者よりも具体的に決まっている学生が報告書を読んでも、貴社で尽力することが自己成長に繋がる確信がもてないかもしれない。2つ目は、何度も触れている話にはなるが、プログラムが相対的にどの程度優れているのかが分からないということだ。業界平均との比較(他社との比較)が無いと、貴社で自己成長したつもりでも、実は他社で自己研鑽した学生の方が優れた実力を獲得できるのなら、貴社の環境は特別優れたものとはいえなくなる。この2点に関してもう少し踏み込んだ説明が報告書に含まれていれば非常に良いと筆者は考える。

### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

貴社の統合報告書を最初に見たとき、筆者はその見易さ・読みやすさに驚いた。目次や各記事のタイトルが簡潔で分かりやすく、どこに何が書いてあるのか、その記事で貴社は何を伝えたいのかがはっきりしていた。また、会社概要の他に、株式情報、財務指標、二酸化炭素排出量や水の使用量等を示す非財務指標、財務諸表、フィナンシャルレビュー等、貴社に関するあらゆる事務的な情報が報告書の末尾に掲載されており、貴社についての理解を深めるには非常に役立つといえる。グラフや図も多く用いられており、レイアウトが優れてい

ることから読みやすい。但し、先の節で述べたように、他社との比較があまりにも少ないため、電気機器業界における貴社の立ち位置は理解できない。簡潔にいうと、貴社単体についての情報は非常にわかりやすく示されている一方、貴社を取り巻く環境とそこにおける貴社のポジションに関する説明が不足している。市場経済下にある以上、会社は単体で成立するものではなく、所属業界で競合しているものもしていないものも含めた他社との関わりの中で出来上がっていくものであるから、筆者としては、報告書に他社比較を多く取り入れることや、所属業界に関する情報を本格的に盛り込むことが必要不可欠なのではないかと感じている。